



2020年1月25日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
 代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
 (コード番号: 6264 東証第一部)
 問合せ先 管理本部長 下舞 毅
 (TEL. 0996-68-1140)

2019年12月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり2019年12月度の月次受注残高を開示いたします。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	462	62.1%	0.6%	△14.5%
F P D分野	275	37.0%	△11.9%	67.7%
その他分野	7	1.0%	61.3%	53.3%
合計	744	100.0%	△4.1%	5.0%

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	2019/1	2019/2	2019/3	2019/4	2019/5	2019/6
半導体分野	521	458	490	555	548	536
F P D分野	174	157	169	185	191	206
その他分野	4	4	3	4	6	4
合計	701	620	663	745	747	748

区分	2019/7	2019/8	2019/9	2019/10	2019/11	2019/12
半導体分野	460	391	429	438	459	462
F P D分野	246	340	337	322	312	275
その他分野	4	4	5	3	4	7
合計	711	737	772	764	776	744

3. 月次受注残高の概況

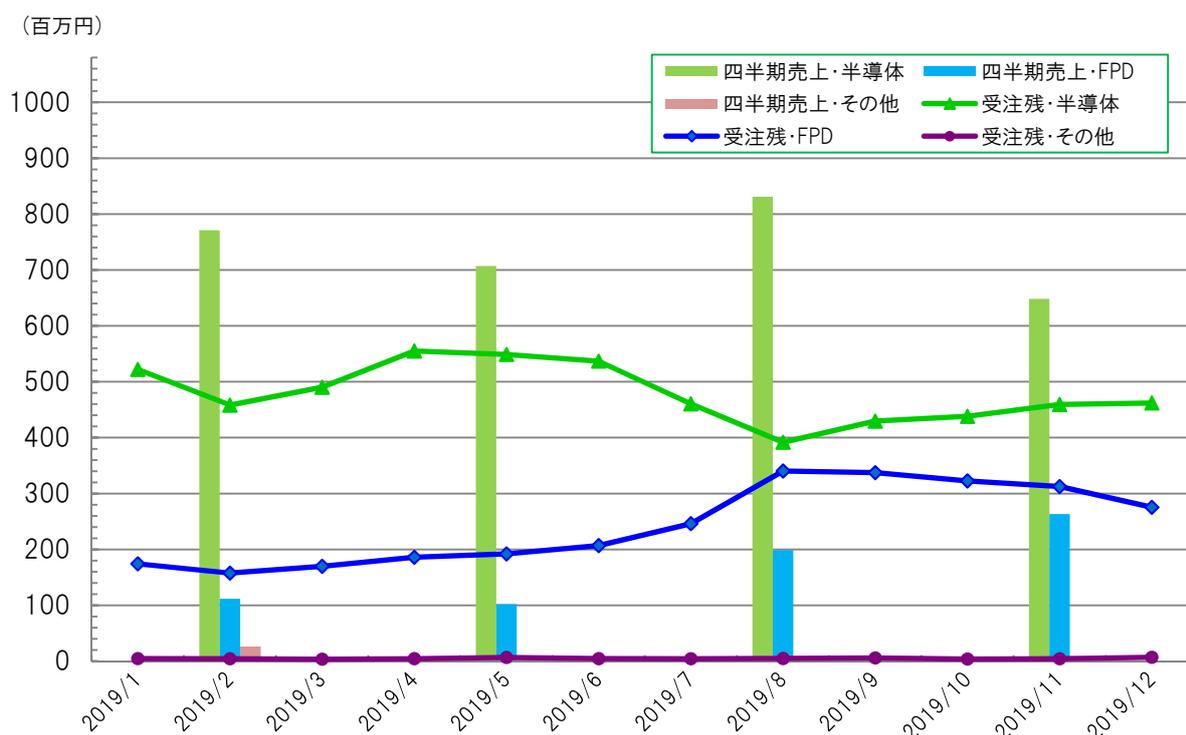
2019年12月末の受注残高は、半導体分野においては、特にメモリ関連の受注が回復傾向にあるなかで納品の前倒し要望を受けて検収が進んだこともあり、対前月増減率は0.6%増、対前年同月増減率では14.5%減の462百万円となりました。FPD分野においては、受注が若干低調であったところ、出荷検収は順調であったことから、対前月増減率は11.9%減、対前年同月増減率では67.7%増の275百万円となりました。その他分野においては、大きな変化はありませんでした。これらの結果、2019年12月末の受注残高は、対前月増減率4.1%減、対前年同月増減率5.0%増の744百万円となりました。

現在の市場環境として、半導体分野では、ロジック向けの需要が堅調に推移しつつメモリ向けの需要も高まり始めました。FPD分野では、足元は中国においてOLED（有機EL）投資やG10.5液晶パネル投資が進んでおり、当社では電子ビーム溶接を活用した受注と生産が活発化しております。

今後の見通しといたしましては、半導体分野では、ロジック向けに加え、メモリ向けの需要が拡大する見通しです。FPD分野では、G10.5液晶向けの出荷は今期末までは概ね高水準が続く見通しであります。また、G6 OLED向けにつきましては、それ以降も一定の投資案件数が続く見通しであり、当社は電子ビーム溶接機を活用した受注が順調に推移すると見込んでおります。その他分野につきましては、引き続き、当社の各種生産能力を活用した受注活動を行ってまいります。

以上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



- 注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。
- 注2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。